



Hachioji MAIL NEWS

JR 東日本輸送サービス労働組合 八王子地本
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION - HACHIOJI



ホームページ

2021.3.19
No. 146



Twitter

八地申
第27号

八王子駅輸送体制の見直しに関する申し入れ

3月19日
提出!

2020年10月2日、「2020年度営業施策(その2)について」提案を受け、八王子駅の輸送体制について信号2徹・輸送1徹による体制見直しを示されています。解明交渉では運輸のプロとしてあるべきライフサイクル施策による異動者に対して、「輸送のレベルアップもやっていかななくてはいけない」と述べられつつ、「内勤をカバーし、改札にて案内を行なうことで幅が広がる」と営業面における効果のみが語られ、トッププライオリティである安全の確保については、「内勤でモニターを見ながら」と「ホーム巡回」で事足りるといわんばかりの回答でした。

また、解明交渉後八王子駅では「改札に入るのは輸送の作業ダイヤだけである」とことと「輸送の作業ダイヤに信号担当社員も入る」とことが通告され、「信号担務の社員が輸送の作業ダイヤに入り改札に入ることはない」という認識と異なる状況が生み出されています。

安全を確保する業務は担うべき輸送職社員が案内の傍ら行なうべき業務ではなく、またお客さまへのサービスを担う案内業務や収入確保を担う精算業務は長く営業から離れていた輸送職社員が未熟なスキルで行うべき業務でもありません。

さらに輸送職は指定業務であり職責に応じた手当が発生するように専門的な訓練・研修、医学適正が必要な特殊勤務であると言えます。そのような業務をあたかも誰でもできるとすることは安全な鉄道の崩壊に繋がる危険性をはらむため、運用には考えられる危険性を排除して臨むべきであり、その運用については社員が不安なく取り組むことができるべきです。

安全・安定な鉄道の運行と、人でしかできないサービスの提供という両立しづらい業務を行なうことに対して「安全・健康・ゆとり・働きがい」が実感できる施策とするため、下記の通り申し入れを行いました。

1. 安全で安定した輸送を提供するために、輸送A番の作業ダイヤにホーム巡回や車内点検等を行なう業務の時間を確保すること。
2. 立ち番による対応の時間帯において、乗降終了合図を受けてから列車を発車させるよう関係箇所へ周知徹底すること。
3. 立ち番が不在の時間帯が発生することから、安全の確保のため優等列車のドア扱いについては中間運転台では行わないようにすること。
4. 施策実施後、安全を脅かす事象が発生した場合は輸送体制を見直し、以前のように輸送2徹体制とすること。
5. 輸送A番を担う社員は運転当務に指定し、手当を支給すること。
6. 輸送担務社員が改札に入る際には不安のないよう十分な教育を行うこと。

安全第一の輸送サービス提供実現に向け、交渉に臨みます!